

練習の成果を十分に発揮した「縄跳び大会」！～自己記録更新に向けて、しっかりと跳ぶことができました。～ <2/9>

2月8日（水）に、年長・年中組による「縄跳び大会」を「園舎南側の広場」で行いました。この日のため、子どもたちは12月頃から、朝や昼休みなどの自由遊びの時間に自分から進んで練習してきました。特に年中さんにとっては年少の時から「憧れていた縄跳び大会」への参加です。上手な年長さんやお友だちの真似をしながら、またはお友だちと互いに競い合いながら技能の向上に努めてきました。

10時になり園児たちが園舎南側にあるバス乗降広場に集合しました。クラスごとに整列し、その後輪を作りました。担任の先生の簡単なお話の後、クラスごとに準備運動を行いました。いよいよ大会の始まりです。年長さんでは「気合い」を入れるクラスも。名前の順に「前飛び」をして、跳んだ数を競い合います。全員が自己記録更新に向け、真剣な表情で跳び始めました。〔子どもたちが目標をもちやすいように、「縄跳びカード」を3学期はじめに渡し、先生方が毎日のようにチェックしています。カードに記された目標の数や跳び方をクリア（達成）すると、先生方からきれいな合格印をもらえるので子どもたちは大喜びです。〕



いよいよ本番。「ひまわり組」では、多くの子がみんなの前で跳ぶことに少し緊張した様子が見られました。しかし、いざ始まると初めて100回以上跳ぶことができたお友だちも多く、「本番に強いな」と感じました。一方で練習の力が発揮できず「もう少しだったのに……」と悔しそうな表情の子も。

「あさがお組」では、1回目跳んだ回数が満足できずに悔しそうにしていた子が、2回目は今までで最高記録を跳び、飛び上がって喜んでいました。逆に、練習の時は100回以上跳んでいた子が、本番では緊張してしまい、いつもの力が発揮できずに悔しそうにしている子も。

年長組も頑張っていました。昨年も大会を経験しているので、年中さんより跳び方も安定しています。そのため、100回を超える子が続々と出ています。中には400回を超える子も。「先生ヤッター！今までで一番多く跳べた。」と嬉しそうに報告する子もいます。すると、先生が思わず「スゴイ！よく頑張ったね。」とその子を抱きしめます。その光景に、見ている方も「ジーン」ときます（愛情たっぷりの先生方です）。



各クラスとも一人2回チャレンジできます。すると、2回目のチャレンジで「ゆり組の男の子」がミスをしないでずっと跳び続けています。でも前へ前へと跳んでいるので、園舎入口の扉に当たりそうになります。すると先生がすぐに門を開けてぶつからないようにします。2分を超えてもまだ続いています。数を聞くと、何と400回を超えているのです。自然と周りの子から、「ガンバレ！がんばれ！」という声が園内に響き渡ります。また、「さくら組」でも同じように2分以上跳び続ける子がいました。終わった瞬間、全員から惜しめない拍手が送られました。今までの練習の成果だと感じました。



今年は寒さも厳しく、園庭で練習するのはとても大変だったと思います。でも、子ども達は本当によく練習していました。その結果、年長さんでは100回以上跳んだ子が14名、年中さんでは50回以上の子が13名いました。大会終了後に表彰式を行いました。年中組・年長組とも上位3名が表彰を受けました。名前を呼ばれると元気に「ハイ」と返事をして、誇らしげに前に出てきます。そして、手作りの「金色に輝くメダル」が授与されました。

